

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 発達センターちよだ

公表日 2026年3月25日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.0%		欄やおもちゃ棚が室内設置になったこともあり、スペースは適切である	2025年度6月より新しく備蓄を増強しました。療育グループや保護者研修にて使用している。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	94.7%	5.3%	職員が増えると余裕を持って保育ができると思う。適当であると思うが、とりくみや子どもの姿から見ると、人員がほしいと感じることはある。	市基準以上の職員配置を行っている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	70.0%	30.0%	バリアフリー化されていない。内線がないので連絡が取りづらい。手すりなどはない。構造化は、目で見てわかる形にはなっていないが、場所は決めている。部屋の構造上仕方ないですが、保育室のなかの生活空間と遊びコーナーをはっきりさせられるかと思いましたが、また、年齢や発達にあったおもちゃが保育室にあればいいのにとも思っています。トイレの便器の使い分けやそこまでの視覚的誘導もなかなか形になっていなかったように思います。	2025年度年中に幼児用トイレを修繕しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	75.0%	25.0%		引き続き丁寧な掃除を行っていく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	75.0%	25.0%		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	80.0%	20.0%	パートさんと組んでいるが、その点については興味部分が多いように思う。	パート(非常勤職員)も含めた会議や回覧を用意して、どの職員にも情報共有が出来るようにしていく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%		日々の中でも話す機会を大切に、意見を受け付けている。評価を実施した後に意見をみんなで共有している。職員会議で、評価と業務改善を全員で確認している。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89.5%	10.5%		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	73.7%	26.3%		2025年度は第3者評価委員として、さわらび園山本園長に評価をしていただいた。
適切な支援の提供	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	90.0%	10.0%	必要に応じて研修への参加が促される年に何回か研修に出してもらっている。法人内での研修やちよだ独自の研修もやっている。外部の講師を呼んで研修を行ったり、子どものケース検討を通して子ども理解を深めたりして、職員の質を高められるようにしている。アセスメントの時間を設け、現在の姿も確認しながら行っている。	引き続き、その年の保護者や子どもの状況に合わせて、保育技術の向上を図る研修を実施していきます。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	90.0%	10.0%		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	94.7%	5.3%	意識して書いているつもりだが、書き方についての学習は必要だと感じている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	94.7%	5.3%	適宜計画を見ながら支援をしている。他クラスの共有機会があるという。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	90.0%	10.0%		標準化されたアセスメントツールは使用していませんが、共通の発達の票を使ってケース検討を実施している。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	95.0%	5.0%		ガイドラインに沿った支援を行っているが、職員の中には児童発達支援ガイドラインに目を通していない職員がいる、今後は年間通しての学習を検討していきたい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	95.0%	5.0%	日々一緒に組んでいる職員にまず自分の意見を伝えつ、意見や案を求めて考えている。月に一度にクラス担任で会議を行ったり、全体の職員会議に於いても全体で確認する場を作っている。	保護者会と合同企画として、行事を作り、活動内容も、季節や文化を意識して立案実行してきた。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	95.0%	5.0%	その時の季節や伝統を伝えられる行事、あそびづくり会議などで話し合いながら工夫している	引き続きちよだに通う家族のニーズと私たち職員が経験させたいことを明らかにしつつ、様々なプログラムを立案していきます。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	95.5%	5.0%	個別のねらい、集団としてのねらいの視点を持って作成している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	90.0%	10.0%	毎回子どもたちが来る前には職員が集まり、話す時間を作り、確認している。	基本的には支援開始前に打ち合わせ時間が確保されているが、送迎等で全職員がそろっているわけではない。支援終了後の振り返り時間も有効に活用し打ち合わせを行っている。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	90.0%	10.0%	毎回ケースを行っているが、時間は足りないときもある。全員が揃わない日や、ケースとして時間を作れない時もある。	様々な業務も重なっているが、全員が集まらなくても、職員間の連絡ノートも作成しながら実施していきます。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	90.0%	10.0%	毎回日誌を書いて、要点は書き留めている。	
23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	95.0%	5.0%	支援計画を作成する中でも、担当する以外の職員とも確認するようにしているが、不十分な時もある。		
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	90.0%	10.0%		
	25 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	94.7%	5.3%	学齢期の子どもたちに対しては不十分だと感じている。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	90.0%	10.0%		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	94.7%	5.3%	来年度新しい集団へ移っていく子達に対しては、引き継ぎ表等の作成を行う予定である。	
	28 (28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	90.0%	10.0%		
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100.0%		いろいろな施設の職員と一緒に研修を受ける機会がある	
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	94.7%	5.3%		
	31 (31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受けられる機会を設けているか。	94.7%	5.3%		
32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	94.7%	5.3%	交流保育をしている	2024年度より、守山保育園との交流保育を行った。	
33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%		保護者と週1度あって話している。デイの降参時には今日の姿も含めて、話をするようにしている。		

保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	78.9%	21.1%	保護者への研修を行なっている	ペアレントトレーニングという名称では実施をしていないが、親子通園期間、親子通園日を設け、親子のより良い関係を築いていけるよう支援を行っている。また、個別OTを年2回実施し、個別での保護者相談も実施している。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100.0%			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%		親子登園日や、必要であれば懇談などを通して行っている	引き続き、保護者の方々と懇談や家庭訪問を積み重ねていきながら、子どもに関わる専門的な意見を伝えていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	95.0%	5.0%	一緒に行事に向かっている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	94.7%	5.3%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100.0%		会報やホームページ等で発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	95.0%	5.0%		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	95.0%	5.0%	配慮の仕方をより、学習していきたい。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	95.0%	5.0%	園庭開放を実施している 夏祭りなど、地域向けに向けた行事の開催	毎月土曜日に地域の方を対象に園庭開放の事業を行った。子育て教室も今年度より志段味地区で実施している。地域の方が初めて、ちよだの園庭であそぶ親子も多かったです
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	94.7%	5.3%		毎月の1日前後に防災訓練を実施している。今年度は、守山消防署による救急訓練、守山警察署による防犯訓練を実施した。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%		発作状況表など作成し、提出してもらっている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	94.7%	5.3%		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	95.0%	5.0%	ヒヤリハットを書く表はあり、書くことができる。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	85.0%	15.0%		東部地域療育センターほけっとと合同で、虐待防止研修を実施した。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	84.2%	15.8%		障害者権利条約、子どもの権利条約についても引き続き学習を進めていきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。
発達センターちよだ デイサービスちよだともに全職員で実施しました。
園長：後藤 明子 児童発達支援管理責任者：水野裕貴 児童発達支援管理責任者：小沢佐季